



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年8月4日

上場会社名 株式会社ハウス オブ ローゼ 上場取引所 東
 コード番号 7506 URL <https://www.houseofrose.co.jp>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 池田 達彦
 問合せ先責任者（役職名） 取締役管理本部長（氏名） 佐藤 哲（TEL）03-5114-5800
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2024年3月期第1四半期の業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	2,722	△3.6	△122	—	△119	—	△108	—
2023年3月期第1四半期	2,823	12.4	△56	—	△52	—	△56	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	△23.07	—
2023年3月期第1四半期	△11.92	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	9,319	5,567	59.7
2023年3月期	8,832	5,741	65.0

（参考）自己資本 2024年3月期第1四半期 5,567百万円 2023年3月期 5,741百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	12.50	—	12.50	25.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	12.50	—	12.50	25.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,550	5.4	300	95.2	290	53.7	247	△51.6	52.70

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年3月期1Q	4,703,063株	2023年3月期	4,703,063株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2024年3月期1Q	633株	2023年3月期	633株
------------	------	----------	------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年3月期1Q	4,702,430株	2023年3月期1Q	4,702,430株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期損益計算書関係)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期の国内景気は、新型コロナウイルス感染症対策の緩和に伴い緩やかな回復がみられ、企業収益も全般的に改善傾向に向かいました。消費者マインドも持ち直し、コロナ禍で低迷していた外食産業や旅行関連業などが伸長しましたが、一方で食料品等の値上げも相次ぎ、消費者の購買行動は選別志向が一層強くなりました。

(直営店商品販売事業)

ハウス オブ ローゼ直営店は、コロナ禍で制限していたハンドウォッシュ（お客様の手を顔に見立て、洗顔料等を使用しお客様の手に触れながら洗顔方法をお伝えする、当社の強みである販売手法）を再開し、お客様一人ひとりに対する「ふれる（触れる）接客」を通じた販売力を再強化することでスキンケア化粧品の売上増加を図りつつ、業績向上に取り組んでおります。その結果、スキンケア化粧品及びメイクアップ化粧品の売上高は前年同期を上回りました。しかしながら、当期間限定で販売しているボディケア化粧品について、本年は機能性を重視した新機軸の商品を発売しましたが、デザイン面を含めお客様への訴求力が弱く、売上高は計画を大きく下回りました。また、毎年この時期の売上に貢献していた雑貨商品の一部が原材料調達の関係で仕入ができず、事業売上高減少の一因となりました。これらの商品は新客獲得にも寄与していたため、新客数も大きく減少しました。さらに6月下旬から開催したサマーセールではヘアケア化粧品の出足が鈍く、全般的に厳しいスタートとなったこと等により、当四半期売上高は、前年同期比で約7%減となりました。ただ、売上減少の要因は上記の様に明らかなので、対策を講じ第2四半期以降回復に注力してまいります。

EC事業は、コロナ禍の収束に伴うリアル回帰により、EC業界自体の伸長低下が指摘される中、自社ECサイトでは、リピート購入を促進する等CRM強化の成果が表れる形で前年同期比約3%の売上増となりました。また楽天モールもイベントによる訴求や広告宣伝が寄与し伸長しましたが、ZOZOコスメは前年のOPENイベントからの反動減で前年同期売上を下回る結果となり、またこれまで順調に伸長してきたAmazonモールも主力のボディースムーザーを中心に微減となる等、EC事業全体の売上高は、前年同期比約1%増となりました。

他の直営店商品販売事業を加えた当事業売上高は20億48百万円（前年同期比5.4%減）、経費面では、前年同期は自粛していた営業活動強化により諸費用が増加した他、売上減少に伴う固定的な経費率の上昇により営業損失1億49百万円（前年同期は営業損失91百万円）と損失額が拡大しました。

(卸売販売事業)

卸販売事業もHOR直営店とほぼ同様に、期間限定のボディケア化粧品の低迷及び一部雑貨商品の仕入停滞の影響で客数が減少し、これら商品の売上減が事業全体の売上高に大きく影響を及ぼしました。その中でも個人オーナー店舗向け卸は、スキンケア販売が持ち直すなどで売上高は前年同期比微増となりました。中国越境EC卸は、中国市場の需要回復の遅れもあり、売上高は前年同期から大幅に減少となりました。一方その他一般卸は、コロナ禍からの回復に伴い納品額の増加や取扱品目を拡大する取引先が増え、着実に売上伸長しました。

以上の結果、当事業売上高は3億73百万円（前年同期比2.9%増）と増加したものの、営業経費の増加により営業損失10百万円（前年同期は営業利益3百万円）と赤字計上となりました。

(直営店サービス事業)

リラクゼーションサロン事業は、季節限定コースやロングコースの施術需要が伸び、施術単価も上昇しました。またオンラインによる予約利用率も上昇し、スタッフの業務効率向上に寄与しました。しかしながら、前期中に不採算の2店舗を撤退したことから、売上高は前年同期比約5%減となりました。

一方カーブス事業は既存会員に対するサポートを強化し、退会者の抑制に努めると共に、フランチャイザーであるカーブスジャパンのTVCMを通じた会員募集等も寄与し、会員数は前期末比で約150名の純増となりました。既存会員に対するサポート目標を設定し、会員一人ひとりの状況把握に努めた結果、スタッフ数不足が続く中で、売上高は前年同期比約6%増となりました。

以上の結果、当事業売上高は3億円（前年同期比1.4%増）、カーブス事業の伸長が牽引し営業利益は37百万円（前年同期比14.0%増）となりました。

当第1四半期の全社売上高は27億22百万円（前年同期比3.6%減）となりました。経費面では営業活動強化に伴う費用が増加したことに加え、売上減少に伴う固定的な経費率の上昇により、営業損失1億22百万円（前年同期は営業損失56百万円）、四半期純損失は1億8百万円（前年同期は純損失56百万円）と損失額が拡大しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末より4億86百万円増加し、93億19百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末より4億74百万円増加し、62億8百万円となりました。これは主に現金及び預金が73百万円、売掛金が1億11百万円、商品及び製品が1億87百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末より12百万円増加し、31億11百万円となりました。これは主に投資その他の資産が23百万円増加し、有形固定資産が3百万円、無形固定資産が7百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前事業年度末より6億60百万円増加し、37億51百万円となりました。これは主に電子記録債務が5億41百万円、賞与引当金が1億28百万円増加したことによるものであります。

純資産合計は、前事業年度末より1億74百万円減少し、55億67百万円となりました。これは主に利益剰余金が1億67百万円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、前回発表(2023年5月15日決算短信)に記載の業績予想に変更はありません。上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,300,688	3,374,266
売掛金	862,605	973,804
商品及び製品	1,559,015	1,746,648
その他	12,549	114,340
貸倒引当金	△1,049	△1,049
流動資産合計	5,733,808	6,208,009
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	313,288	313,464
工具、器具及び備品(純額)	16,999	16,080
土地	1,066,868	1,066,868
リース資産(純額)	90,618	88,180
有形固定資産合計	1,487,774	1,484,595
無形固定資産	29,122	21,232
投資その他の資産		
差入保証金	555,494	546,779
その他	1,026,619	1,058,539
投資その他の資産合計	1,582,113	1,605,319
固定資産合計	3,099,010	3,111,146
資産合計	8,832,819	9,319,156
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	203,873	153,461
電子記録債務	452,118	993,743
短期借入金	150,000	150,000
1年内返済予定の長期借入金	100,000	100,000
未払法人税等	1,717	36,587
賞与引当金	175,536	304,196
その他	650,469	646,127
流動負債合計	1,733,713	2,384,115
固定負債		
退職給付引当金	1,175,272	1,188,046
役員退職慰労引当金	101,614	104,554
資産除去債務	17,208	17,548
その他	63,224	57,284
固定負債合計	1,357,319	1,367,433
負債合計	3,091,033	3,751,549
純資産の部		
株主資本		
資本金	934,682	934,682
資本剰余金	1,282,222	1,282,222
利益剰余金	3,453,350	3,286,084
自己株式	△724	△724
株主資本合計	5,669,530	5,502,263
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	115,989	109,077
土地再評価差額金	△43,733	△43,733
評価・換算差額等合計	72,255	65,343
純資産合計	5,741,785	5,567,607
負債純資産合計	8,832,819	9,319,156

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	2,823,626	2,722,049
売上原価	811,763	815,045
売上総利益	2,011,862	1,907,003
販売費及び一般管理費	2,067,974	2,029,512
営業損失(△)	△56,111	△122,508
営業外収益		
受取配当金	1,257	1,442
受取助成金	※1 3,459	※1 1,093
その他	989	1,139
営業外収益合計	5,706	3,675
営業外費用		
支払利息	1,876	1,164
その他	107	—
営業外費用合計	1,984	1,164
経常損失(△)	△52,389	△119,997
税引前四半期純損失(△)	△52,389	△119,997
法人税、住民税及び事業税	37,692	24,720
法人税等調整額	△34,049	△36,232
法人税等合計	3,643	△11,511
四半期純損失(△)	△56,032	△108,486

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期損益計算書関係)

※1 受取助成金

前第1四半期累計期間の受取助成金は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う休業・営業時間短縮要請等を行う大規模施設に対する協力金を計上しております。

当第1四半期累計期間の受取助成金は、新型コロナウイルス感染症に係る小学校等の臨時休業等に伴う保護者の休暇取得に対する支援金を計上しております。